インナー大会プレゼン部門 2017　専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

大学名（フリガナ）	学部名（フリガナ）	所属ゼミナール名（フリガナ）
フリガナ）チュウオウダイガク	フリガナ）ショウガクブ	フリガナ）ミウラ　トシヒコ
中央大学	商学部	三浦　俊彦　ゼミナール

※大会申込書時に記入したチーム名から変更することはできません。
※パワーポイント内に動画を使用している場合は「有・無」を記入してください。

チーム名（フリガナ）	代表者名（フリガナ）	チーム人数（代表者含む）	PPT 動画（有・無）
フリガナ）チラックス	フリガナ）イデ　ユウタ	6	無
chilax	井手　悠太		

※プレゼンツールを使用する場合は記入してください。記入がないプレゼンツールは大会当日使用できません。

使用するプレゼンツール（具体的に使用するツールを明記してください）
多摩美術大学テキスタイルフリーマガジン（学内広報誌）、株式会社能作パンフレット

研究テーマ（発表タイトル）
伝統工芸の未来を救う

※必ず＜企画シート作成上の注意＞を確認してから、ご記入をお願いいたします。

１．研究概要（目的・狙いなど）

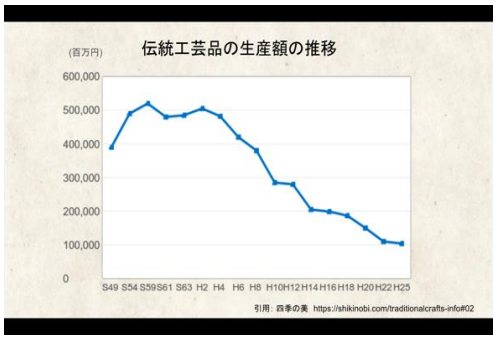
現在、日本には多くの外国人が観光に訪れている。彼らの多くは、京都・浅草に代表される日本古来の街並みが残る観光地に魅力を感じている。そうした街並みには、伝統工芸品が何らかの形で関わりを持っている。伝統工芸品は日本国内のみならず、海外の方々の中にも魅力を感じている人がいるのだ。

しかし、この伝統工芸品は現在、「多くの問題を抱えており、産業として消滅してしまうのでは」とまで言われている産業である。

私たちが行う提案を実施することで、これらの問題を解決し、打開策の見つからなかった伝統工芸業界の将来をより良い方向へ改善していけるのではないかと考えた。

2．研究テーマの現状分析（歴史的背景、マーケット環境など）

伝統工芸品の生産額は、昭和 59 年を境に減少し続けている。これは生活が段々と洋風化していった中で、かつては日本人の生活に密着していた伝統工芸品が、日本人の生活の中で使われなくなってしまったという背景があると言われている。対策として、国内ではデパートなどで行なわれている展示会への出品やインターネットでの通販、また海外の大きな展示会に出展するなどを行っているが、コンサルティング会社の介入や、インターネットでは実際に商品を手にとって評価することができない、海外の展示会はコストや審査の問題で出展することが難しいなど、有効な対策とはなっていない。

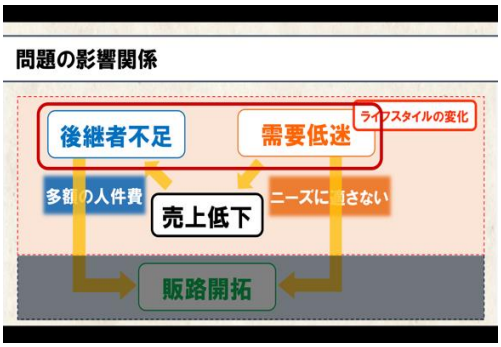


また、従業員数も昭和５４年を境に減少し続けている。この問題に対しては、人手が足りない繁忙期などアルバイトという形で人を雇っている。しかし、一時的な対応にしかなっておらず根本的な問題の解決策とはなっていない。

これらの、容易に調べがつく問題以外にも、何か問題を抱えているのではないかと考えた私たちは、伝統工芸士が「伝統工芸品産業に対し問題であると思うこと」に回答している二次データと、それを元に、実際に現場の人に対しヒアリング調査をした結果、大きく分けて三つの課題があるという仮説に至った。

3．研究テーマの課題

この研究テーマで私たちが課題であると感じたことは以下に記す三点である。【①後継者不足の問題②需要の低迷問題③販路問題】



私たちは、①と②の二つの課題が及ぼす影響として③の課題が生まれていると仮定し、①と②の課題を解決することで③の課題も解決できると考えた。

①の課題について、江戸切子の職人である根本氏は「従業員の高齢化が深刻化する中、若い人材が求められていますが、後継者の育成にはコストがかかり改善が難しいです。」と述べている。

②の課題について、多摩織の伝統工芸士である澤井氏は「需要が低下し、従来製品では売り上げが伸びなくなった。時代のニーズに合わせた商品開発が重要である」と述べている。これらの話を含めた上で、課題解決のための案を提案する。

4．課題解決策（新たなビジネスモデル･理論など）

上記の①・②の課題を解決するため、私たちは「クラネット」という伝統工芸業界を活性化し、より世間一般に身近に感じてもらうサイトを提案する。このサイトは①の課題の対策として美術関連の大学・専門学校に通う学生を対象としたインターンシップを実施し、②の課題の対策として、美術関連の大学・専門学校に通う学生を対象にした県や地方自治体と連携したアイデアコンテストを行う。インターンシップについては、１ヶ月から１年の期間を設け、学生に対して、伝統工芸士がどのような仕事をしていて伝統工芸品業界にどのような会社があるのかを知ってもらう狙いがある。アイデアコンテストは、工房側が、現代のニーズに合わせた新しい商品のアイデアを簡単に得ることができる仕組みを作るという狙いがある。

この提案を実際に行うことで、①・②の課題を解決することができると考える。

5．研究･活動内容（アンケート調査、商品開発など）

私達は、この「クラネット」というサイトが、実際に美術大学の学生や美術の専門学生が使いたいと考えてく

れるのかどうか調査するためにアンケートを実施し、結果として約 78 パーセントの学生が使いたいと回答し、サイトに興味があると答えた学生は 92 パーセントにもなった。

インターンシップとアイデアコンテストという内容について工房側は実際に協力してくれるのかどうかのヒアリング調査を行い、インターンシップに関しては、「根本硝子工芸」「八王子織物工業組合」「伝統工芸品産業振興協会」の担当者から好意的な意見をいただき、アイデアコンテストに関しても、実際に企画書を提出し、話を進めていくことは可能だという意見をいくつかの地方自治体よりいただいた。

また、サイト開設・運用のための費用は、開設のための初期費用は八王子の学生提案事業負担金への申請をすることで賄い、運用のための費用については、広告を掲載してもらうことで賄うことができると考えている。掲載してもらう広告については、美術に関する大学や専門学校、美術大学の学生や美術の専門学生を対象とした求人を行っている企業へ依頼することを考えており、実際にいくつかの企業と話を進めている。

6．結果や今後の取り組み

現段階で、私たちの提案は、インターンシップ・アイデアコンテストともに美術大学の学生や美術の専門学生を対象としている。今後の展開として、実際に現在、話を進めている市区町村や企業と連携し、サイトの運営を始め、５年を目処に黒字へと事業は転換していくと考えることができるので、これを転換期とし、提案内容の規模を拡大する。

インターンシップについては美術を学んだ事のある、学生ではない一般の方、高校生の時から美術関連の技術を学んでいる方にターゲットを広げていく。

また、アイデアコンテストについても、美術大学の学生や美術の専門学生を対象として実施した後、美術に関係した技術を学んでいない人も SNS などを使用して気軽に参加できるような仕組みを作る。開催地に関しても現在お話を進めている市区町村以外にも、伝統工芸品を盛り上げたい、地域を挙げた町おこしをしたいが具体的な対策が思い浮かばない、といった悩みを抱えている市区町村とも提携し、開催地域を広めていこうと考えている。

7．参考文献

９月２０日　会津若松市商工課商工イベント政策分野１２　中小企業「あいづものづくりコンテスト」
http://www.city.aizuwakamatsu.fukushima.jp/docs/2013092400069/
９月１８日　伊勢市産業観光部商工労政課産業支援
http://www.city.ise.mie.jp/7169.htm
８月４日　一般財団法人伝統工芸品産業振興協会　　産地組合に対するアンケート調査結果
http://www.kougei-net.jp/report2008/002/
９月４日　江戸切子協同組合
http://www.edokiriko.or.jp
９月２２日　金沢市役所経済局 営業戦略部 クラフト政策推進課
http://www4.city.kanazawa.lg.jp/soshiki/keizai/17014.html
８月１２日　株式会社能作　「グローバル・広域地域により急増する受注に対して生産性の向上等で対応」
http://j-net21.smrj.go.jp/know/handson/h24/pdf/h24_13.pdf
８月１８日　国際陶磁器フェスティバル美濃

http://www.icfmino.com

８月２６日　四季の美

https://shikinobi.com/traditionalcrafts-info#02

＜企画シート作成上の注意＞

※本企画シートは審査の対象となり、予選会・本選の前に、実行委員会から審査員(ビジネスパーソン・大学教員)の方々に事前にお渡しいたします。

※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、１チーム・１点提出してください。また、インナー大会・東京経済大学大会終了後、プレゼン部門にご協力いただいている日経 BP マーケティング社様に作製していただく大会結果 HP に本企画シートは掲載されます。

※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1~7 以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。

※本企画シートは、インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項と企画シート作成上の注意を含め、４ページ以内に収めてください。実行委員会から審査員に渡す際は、A4 サイズでプリントし、４ページ目までをお渡しします。

※大会参加申込み時点から、チーム編成の変更(チームの人数・交代など)は、「不可」とさせていただきます。ただし、チームメンバーの留学等やむを得ない事情でチーム編成に変更が生じる場合は、実行委員会(プレゼン局)にご連絡ください。実行委員会側で協議のうえ、ご返答いたします。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。

※企画内容は、未発表の（過去に他誌・HP などに発表されていない）ものに限ります。ただし、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。

※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、版権の使用許諾を得てください。日本学生経済ゼミナール関東部会・日経 BP 社・日経 BP マーケティング社は一切の責任を負いません。

※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先（使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など）を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Web サイト上の資料を利用した場合は、URL とアクセスした日付を明記してください。

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

※パワーポイント内で動画を使用する場合は、必ず「有」とご記入ください。動画を使用する際の注意事項は参加要項に記載しております。

※プレゼンツールを使用する場合は、必ず企画シートにご記入ください。企画シートにてご記入が無い場合、発表当日のご使用を「不可」とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

↑　ここまでを４ページ以内におさめて、提出してください